

第 85 回北九州市都市計画審議会 議事要旨
(主な質問・意見と回答)

議題第 373 号 北九州市広域都市計画下水道の変更について (北九州市決定)
白野江地区【門司区】、向洋町地区【若松区】

○質問・意見

1. 排水区域について、若松区は面的指定、門司区は各戸ごとの指定となっている違いは何か。
2. 今回の事業規模はどのくらいか。

○回答

1. 排水区域の指定について、若松区向洋町は市街化区域であるため、エリア指定を行っている。一方で、門司区白野江は市街化調整区域で、対象世帯の生活環境の改善が目的であるため、対象世帯の敷地面積を追加している。
2. 若松区向洋町については、民間の開発行為のため、開発者が污水管・雨水管を整備する。門司区白野江については、污水管の口径 150 ミリを約 1.5 キロメートル設置し、事業規模は約 1 億円を予定している。

議題第 374 号 建築基準法第 5 1 条の規定による廃プラスチック類、木くず又はがれき類の
破砕施設の用途に供する建築物の敷地の位置について【若松区】

○質問・意見

1. 処理能力と搬出入の量に差があるが、今後、搬出入量が増加していく余力があるということなのか。
2. 市外からの災害廃棄物の受け入れは、今回のような民間施設も想定して市が受入れ量を決定しているのか。
3. 処理後の大気・海洋汚染の状況をしっかり監視されたい。
4. 敷地の一部に都市計画道路がかかっているが、事業者は理解して計画しているのか。都市計画道路が通ったときにも、搬出入の車両が一旦敷地から出て転回するといったことがないようにされたい。
5. 廃プラスチックの圧縮梱包においてカスが出るため、監視の強化及び立地に応じた対策をされたい。
6. 前面道路が狭いと感じるが、本計画による通行量の増加について検証しているのか。

○回答

1. 既存工場でのトラックからの積み下ろしを考慮すると、1日24時間で300tの搬出入がオペレーション上の最大と考えている。
2. 市の処理施設は、一般家庭のごみ処理を優先しており余力を災害廃棄物の処理に充てている。民間施設での受け入れの場合、受入れ元の自治体と北九州市が協議し、民間施設とあらかじめ調整した量を受け入れるようになっている。
3. 業の許可にあたって、より詳しい図面等で協議し、数字としても問題ないことを確認するため、ご指摘の点も今後しっかり協議を行う。
4. 事業者は敷地の一部に都市計画道路がかかっていることを理解して計画しているが、都市計画道路が通ったときに搬出入の車両が一旦敷地から出て展開しないよう指導する。
5. 承知した。
6. 前面道路が接続する国道469号の現状交通量に対して1.5%程度の増であり、本計画による通行車両の増加は吸収できると考えている。

議題第375号 北九州市立地適正化計画の見直しについて（諮問）

○意見

1. しっかりと透明性を確保し、決定過程を公開、説明できるようにすることと、行政の持つ専門性に、住民の視点を取り入れるよう配慮してほしい。
2. 政策的に必要な制度であっても、強引な手法にならないよう、住民がどう考えているかを踏まえながら、慎重に審議すべきだと思う。
3. 人口が減る前提で計画が作られているのは市民としては寂しいと感じる。
4. 若い人たちの意見を聞いていただきたいと思う。今あるサービスをなるべく維持するための政策を考えて、将来、北九州に居てくれる人たちにとって魅力的なまちづくりをしていかないと、これからの世代の人には選ばれないのではないかと心配している。